

2016年以來5年ぶりとなった大雪に興奮 最強寒波の影響で一面の銀世界に

強い冬型の気圧配置の影響で、錦江町でも池田や田代地区など山間部を中心に5年ぶりとなる大雪が降りました。標高約300mに位置する大原小学校の校庭では7cmを超える積雪を記録。一面の銀世界に興奮した様子の子どもたちは、極寒のなかでも雪だるまや雪合戦と、普段経験できない遊びを満喫していました。



雪が降り続くなか寒さに負けず校庭を走り回る子どもたち。左から1年の大浦地駆くん、川畑尚輝くん、2年の石田円さん、町優香さん。

3月1日から始まった春の火災予防運動 町消防団7分団が火災想定訓練

春の火災予防運動を前に、錦江町消防団の全7分団が早朝訓練を行いました。2月28日早朝、悪天候のなか鳴り響いたサイレンで町内一斉に始まった訓練。池田分団と南部消防署、役場消防隊は住宅地付近で発生した山林火災を想定し、本番さながらの緊張感のなか、連携を図りつつ迅速な消火活動を展開しました。



住宅地への延焼を防ぐ想定で行われた3部隊による実践的な合同訓練で、限られた水利を迅速かつ的確に中継する池田分団の団員たち。

コツを教わりながら慣れない手つきでカライモ餅を丸める子どもたち。「おいしかったから家でも作りたい」と意気込む水流和くん。



田代小3年生14名が故郷の味に触れる うんめもんの会が郷土料理を伝授

田代小3年の児童14名が2月16日、農産加工グループうんめもんの会から郷土料理を教わりました。毎年、3年生を対象に行われ、この日は鹿児島島の郷土料理、ガネとカライモ餅を調理。代表を務める猪鹿倉房子さんは、「家庭で作る機会も減っている。故郷や地域の味に触れる機会になれば」と活動に期待を寄せました。

（株）燈を立ち上げゲストハウスよろっでを運営する山中陽さん。「空き家対策に限らず交流拠点など幅広い可能性を秘めている」と話した。



振り返り見えてきた町の未来と展望とは 未来づくり専門員6名が活動報告

総務省の地域づくり協力隊制度を活用し、未来づくり専門員として地域課題に取り組む6名が報告会を開催しました。2月26日はオンラインも含め31名が参加。本土最南端ワイナリーの立ち上げを目指す今井雄一さんは、「錦江町産ワインを新たな人の流れを生み出す契機にしたい」と、町の将来を見据え力を込めました。

勝てば決勝トーナメント進出という重要な一戦で、気迫溢れるプレーを見せた選手たち。10番を背負う梶杏由夢くん（宿利原小）はダメ押しとなる3点目を決めた。



東京芸術座の19名が巡回劇場で来町 子どもたちが芸術に触れる機会を

プロの優れた舞台芸術を鑑賞することで、発想力やコミュニケーション能力を育成する文化庁の巡回公演事業が2月12日から町内4小学校で行われました。17日は、暗幕や照明が設置され劇場と化した体育館で、池田小と宿利原小の児童33名が鑑賞。東京芸術座による迫真の演技を、真剣な眼差しで見つめていました。



大原小学校の呼びかけで始まった巡回公演は大根占小と神川小でも開催。まるで劇場と思わせる特設セットでプロの演技に触れました。

天空に伸びる山「構」について解説する藤嶺さん。「基礎の大切さと希望を表現した。夢に向かって伸びてほしい」と期待を込めました。



全37作品が並んだ「現代美術の世界」 桜島などテーマに田代中で絵画展

田代上原在住の藤嶺さんが2月12日から1週間、地元田代中で絵画の作品展を行いました。4年前から同校で剣道を指導する縁から実現したもので今回が初めて。縦160cmを超える100号の油絵を始め全37点が展示された多目的ホールには絵画の道具やスケッチも置かれ、生徒たちは実際に触れ絵画の世界を学びました。